

ペットのための終活のススメ

もしものとき、大切なペットの将来は大丈夫ですか？



もしも①

家に帰れない！ 動けない！

入院

病気やケガ



- 一時的な預け先を見つけておきましょう。
例) ペットホテル、ペットシッターなど

もしも②

ペットを残して・・・

死亡

施設への入所



- 新たな飼い主を探しておきましょう。
- エンディングノート等にペットの情報を記しましょう。

もしも③

世話が辛くなった・・・

体力の低下

認知機能の低下



- 去勢・不妊手術により、予期せぬ繁殖を防ぎましょう。
- ペットの世話を頼める人や業者を見つけておきましょう。

ペットの終生飼養は飼い主の責任です。

ペットが生涯を全うするまで飼い続けるのはもちろんですが、もしものことがあった場合にも生涯を全うできるよう備えることも飼い主の責任です。

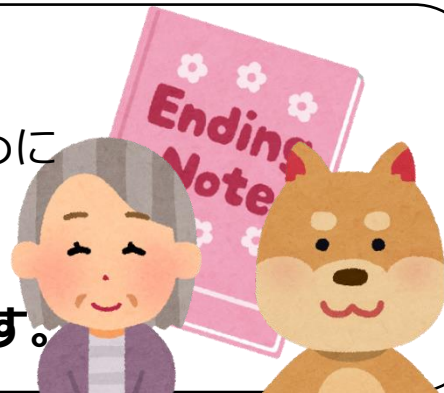
あらかじめ、親戚や友人に相談したり、使える民間業者（動物病院、ペットホテル、ペットシッター等）を調べて活用するなど、もしもへの備えもしておきましょう。

🐾 適正に飼い続けるために

🐾 もしもの時にペットが取り残されないために

しっかりと準備してください。

新しい飼い主探しは、今の飼い主の義務です。



もしもに備えて考えてみましょう

- 1 お世話が出来なくなった時に、ペットをお願いする方や施設へ伝えておきたいペットの情報をまとめてみましょう。（**ペットの情報**へ記入）
- 2 もしもの時にペットをお願いできる方等を見つけましょう。
- 3 事前にその方等の了承をとっておきましょう。（**お世話が出来なくなった時にお願いする方・施設**へ記入）
- 4 実際に託す時のことを相談し、段取りを決めておきましょう。

ペットの情報

名前		動物種	犬・猫・（ ）
種類	雑種・（ ）	性別	おす ・ めす
誕生日		去勢・不妊手術	済 ・ 未済
マイクロチップ /鑑札番号			
かかりつけ 動物病院			
備考（性格や持病、アレルギー、処方食・処方薬など）		写真 （貼れない場合は特徴を記入）	

お世話が出来なくなった時にお願いする方・施設

氏名/名称		私との関係	
電話番号			
住所			